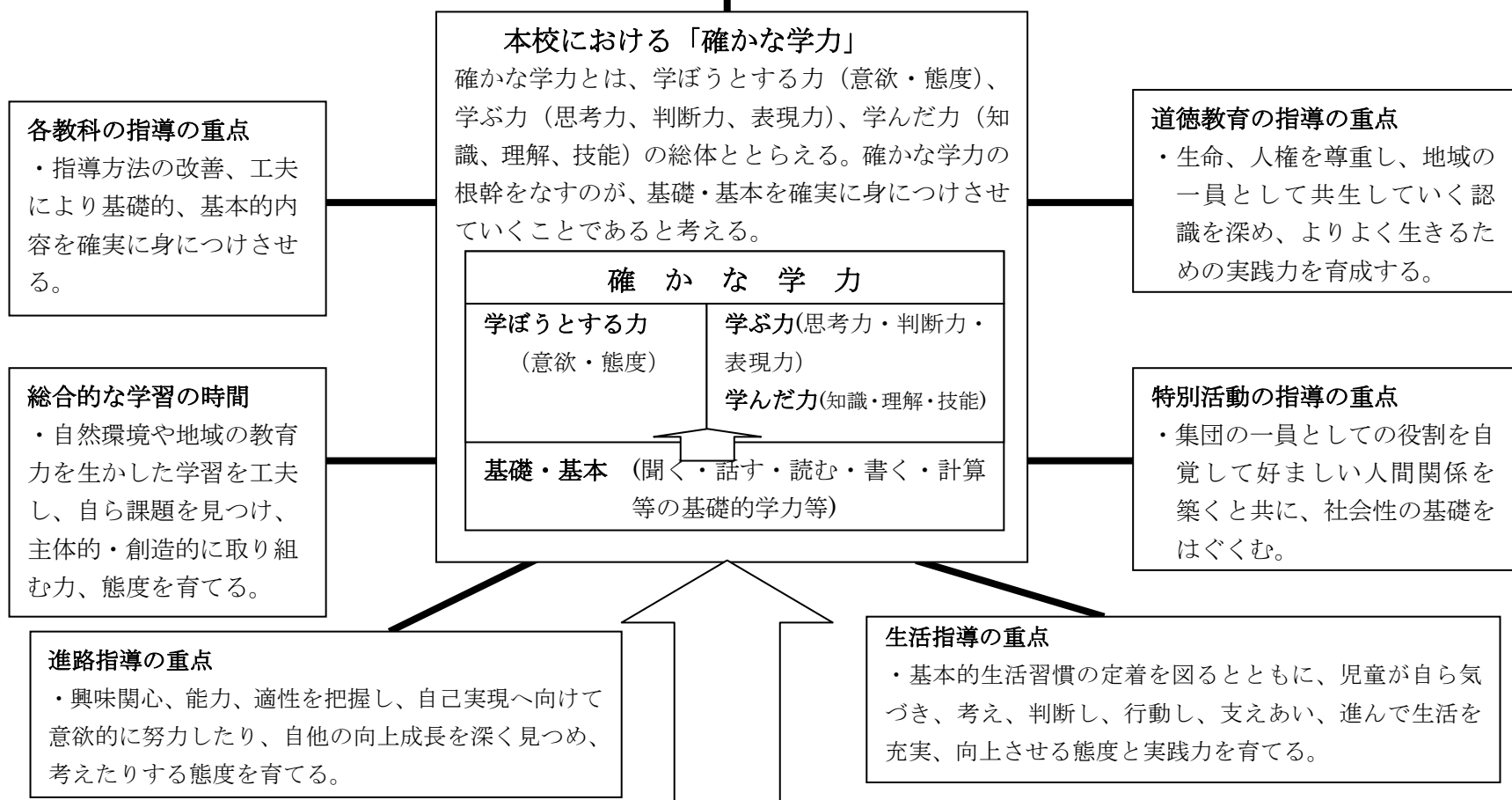
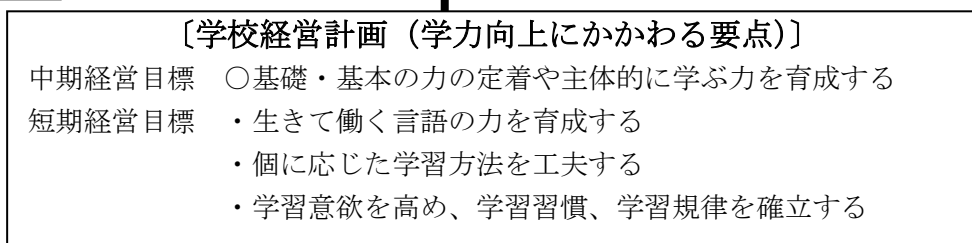
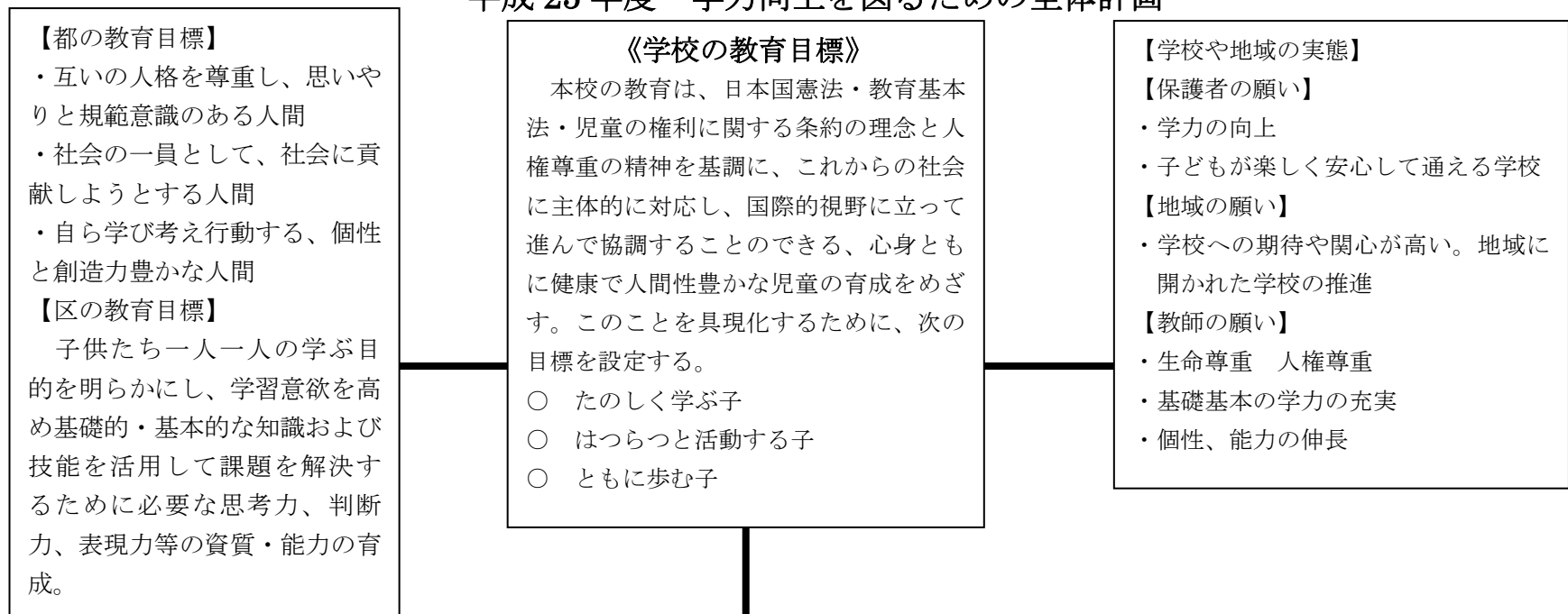


### 平成 25 年度 学力向上を図るための全体計画



本校の改善策				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決学習、体験活動を取り入れた学習の重視</li> <li>課題解決、習熟度別学習を取り入れたティーミング、少人数指導の推進</li> <li>自力解決学習と学習感想の重視</li> <li>読書活動の推進</li> <li>東京ミニマムの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内にある自然を活用した体験学習を年間計画に位置づける</li> <li>朝読書、保護者・教員による読み聞かせ、ストーリーテリングの多様な実践を実施する</li> <li>全学年、外国語（英語）活動を実施</li> <li>教材室の整理、整頓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年7回の授業研究を通しての授業力の向上</li> <li>キャリアプラン等に基づく自主的・自発的研修の活性化</li> <li>教材研究の重視</li> <li>長期休業中に4回の職員研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のよさを見つけ、よさを伸ばすことで他の力を伸ばす評価計画、評価規準、評価基準の作成等による指導と評価の一体化</li> <li>自己評価、相互評価の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立（朝食・睡眠等）</li> <li>「早寝・早起き・朝ごはん」の運動の啓蒙</li> <li>家庭学習や宿題等の工夫</li> <li>地域の教育力の活用</li> </ul>

平成 25 年度校内研究 研究主題「ゆたかにかかわり 学び合える児童の育成 ～算数科を通して～」  
 <学力調査（全国・都）の結果から以下の2点を重点に取り組む>  
 ・児童の課題である算数科の「数と計算」の領域に重点をおいた授業改善  
 ・基礎・基本となる四則計算などの反復練習の時間を確保